

欲に溺れる

人妻

鶴永いくお

若い欲に  
蜜をこぼして

1

欲に溺れる人妻

～若い欲に蜜をこぼして～

---

第1話





えっ!?

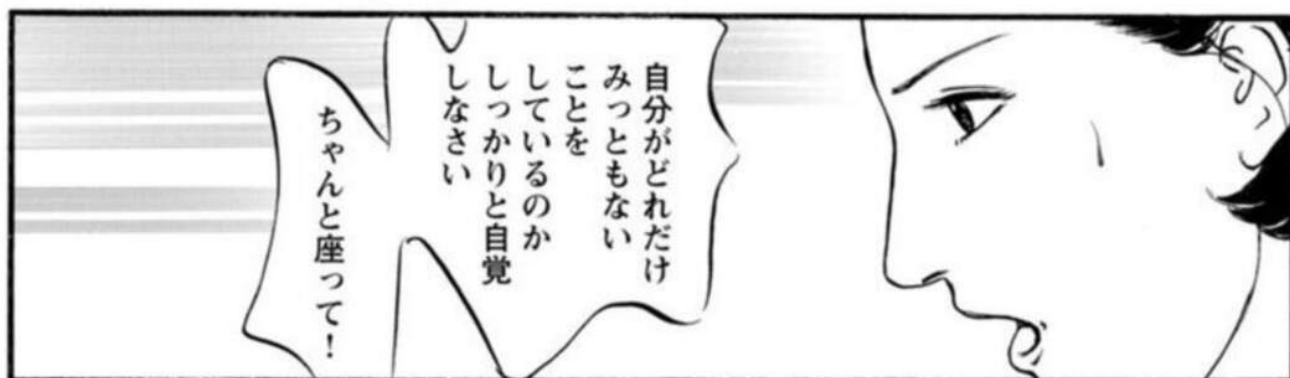


な...何!?

とっ突然...









そつそりやあ  
おばさんの  
パンティーと信じて！

一緒に干してあった  
いちご模様のパンティー  
なんか目もくれずに…



うちの娘に興味が  
あるというわけでは  
ないのね？



最初から私の下着  
だと思って盗ん  
だのかしら

それともうちの娘の  
ものを盗むはずが  
私のものを間違えて  
盗んでしまった  
なんてことは…



母親のほうに  
興味があるというのも  
問題だとは思うけど



だってまだ  
中学生じゃないですか  
俺そんな子供になんか  
全然！ホントに！



隣近所で  
こんな揉め事を  
表沙汰にはしたく  
ないでしょ

だからこうして  
あなたがひとりの時を  
見計らって  
意見をしにきたのよ



さあもう  
ズボンを  
はきなさい



こういう事は  
放っておいたら  
どんどん深みに  
はまって  
しまうでしょ

下着なんかでは  
満足できなくなつて  
次はどんなことを  
してかしてしまう  
のか……



何をしてるの？



い……いや  
なんだかもう……















し…して  
いいんだよね  
ねえ  
おばさん

いっいや

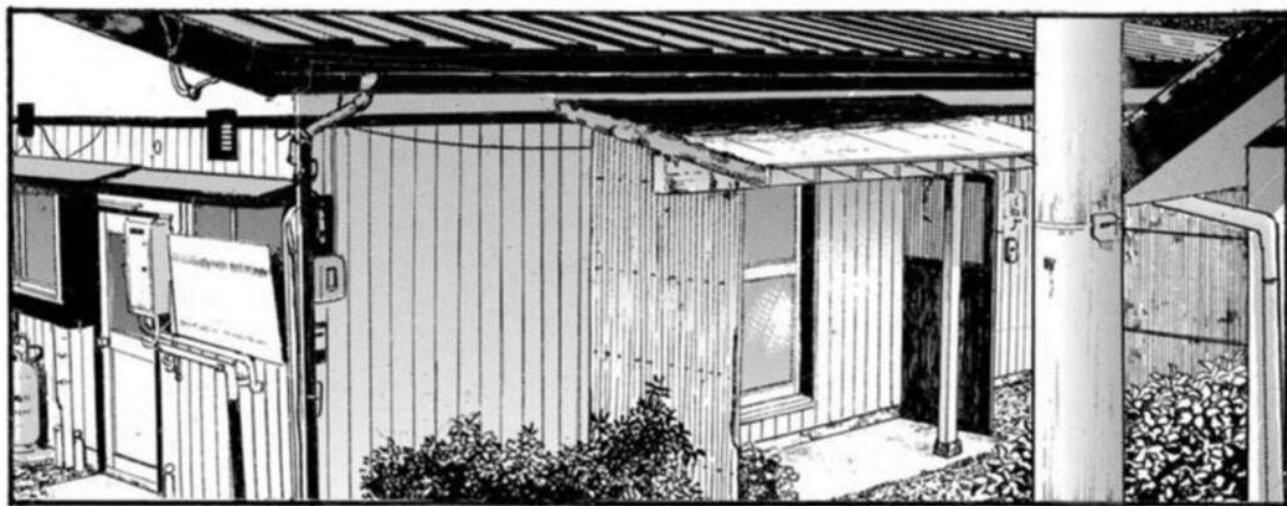
なっ何も  
聞かないで…

はっ

あ





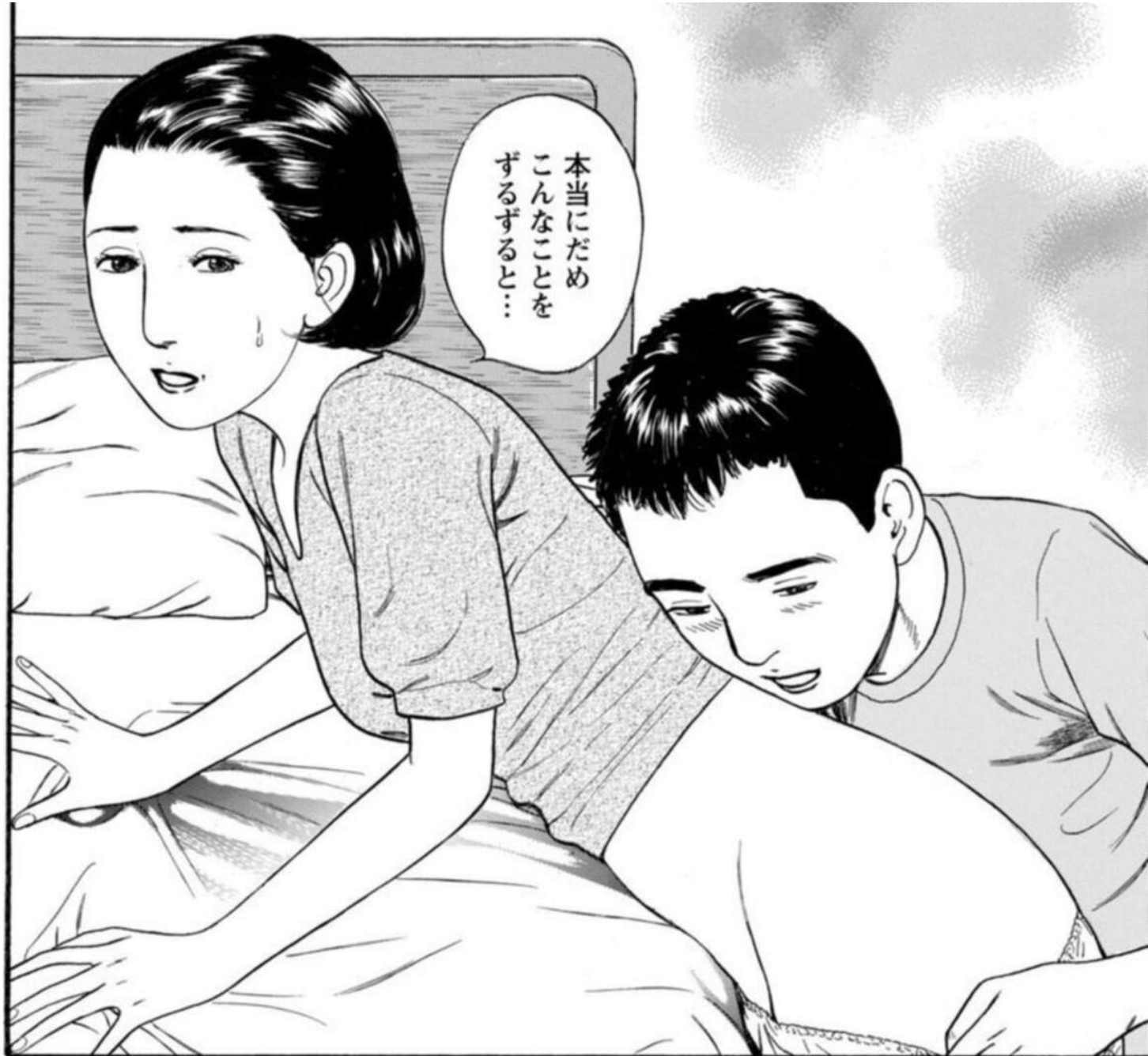














欲に溺れる人妻

～若い欲に蜜をこぼして～

---

第2話









買い物ついでに  
というには  
ずいぶん遠くまで  
歩いてきたんだね



買い物ついでに  
歩いてきたのよ



ヒデちゃんの顔を  
見たくなった……て  
言ったら信じて  
もらえるかな



うしろから  
抱いて  
くれない？



じゃあ他のことを  
ヒデちゃんに  
お願いしても  
いいかな

なに……？



時子叔母さんに  
顔を見せろって  
お願いされたら  
いつでも僕のほうから  
出向いていくよ









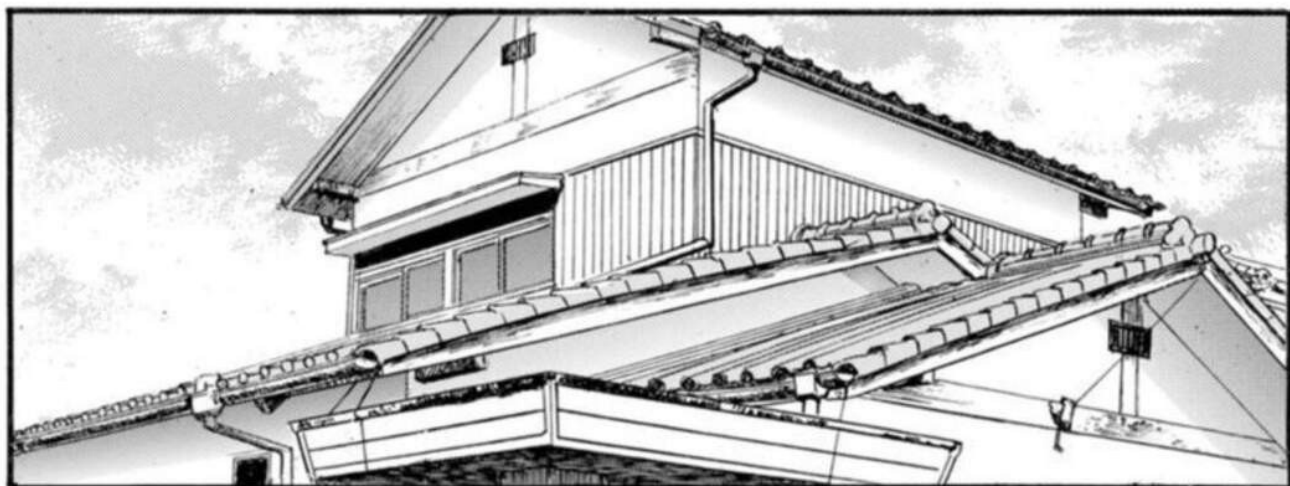
















あっ

あっ

ああ











ヒデちゃん  
私の秘密の  
オアシスだから

波風を  
たてないように



誰にも  
気づかれないように  
大切にしないと

失って  
しまいたくは  
ないのよ





**欲に溺れる人妻～  
若い欲に蜜をこぼして～①**

**鶴永いくお**

© 鶴永いくお／秋水社ORIGINAL